



第 16 回「ああ、もったいない！捨てないで！食べものを大切にしよう川柳」

入選作品（入賞作・佳作）を決定

全国 15 カ所で料理教室を開催する、一般財団法人ベターホーム協会（東京都渋谷区）では「食べもの大切運動」の一環として 2008 年より毎年、食べものを大切にする心をテーマとした川柳の募集を行っています。16 回目の今回は、1,626 句の応募があり、続く物価高に立ち向かうたくましい姿や、話題のチャットサービス、人気アニメなどバラエティーに富んだテーマにインスピレーションを得た作品が多数寄せられました。

●入賞作（5 句）

・ワンチーム 家族で減らす 廃棄ロス（埼玉県 いそのっぺ・42 歳）

家庭の廃棄ロスは、家族みんなで取り組むのが 1 番。冷蔵庫の中を確認して、声をかけあってロスしないように暮らしています

・エコ料理 すぐにチャチャット GPT（宮崎県 アカエタカ・72 歳）

料理もチャット任せになる日も近いかもしれません

・お裾分け 袖触れ合った SDGs（沖縄県 かえる L・38 歳）

最近はお裾分けの文化が廃れてきましたが、食べきれないものはみんなで分けて食べれば食品ロスにつながると思います

・リスクリング 上手い食材 活用法（愛知県 瑠珂・59 歳）

無駄のない上手な食材の活用法を学び直す事も、立派なリスクリングだと思います

・君たちは どう食べるかが 問われてる（東京都 めめこ・33 歳）

食べ残しゼロを目指します

●佳作（10 句）

・縮んだら 寿命が延びた 干し野菜（神奈川県 まあめ・61 歳）

冬は野菜を無駄なく干して保存し、大切に食べています

・うれしいね 孫の口から「モッタイナイ」（新潟県 雪ぼたる・76 歳）

小 4 の女子孫がつぶやいた一言。夕食時、私が満腹でご飯を一口残したのを見ていたのです

・ジム通い 成果はチューブの 絞り出し（島根県 島根のぽん太・55 歳）

こんなところにも成果はあらわれます

・捨てるなと 母のレシピに 書いてある（千葉県 香月・63 歳）

母のレシピを見ると、「材料は捨てずに使い切れ」となっている

・定年後 俺の仕事は 管理食（大阪府 ちく・41 歳）

冷蔵庫の期限管理をしています

・だし昆布 佃煮になる いい余生（東京都 ルーク・61 歳）

だしを取ったあと、佃煮にすれば昆布も喜びます

・残り物 レシピ調べて 再雇用（東京都 ハルル・68 歳）

残った食材もいろいろな調理法で変わった味を楽しめます

・待ったなし 日本が減ぶ 自給率（大阪府 カワサン・72 歳）

食べ物を大切にする事は、自給率を上げることに力を入れること。輸入が止まれば、それが生存率になる

・無駄のない 料理が育てる 思考力（神奈川県 栗ヶ岳・54 歳）

料理をしながら、食材を大事に使おうとする行為は、気づかぬうちにあれやこれやと考えることで思考力を鍛えている

・メイクより リメイク褒められ 照れる母（神奈川県 つべる・30 歳）

母の残り物リメイク術はすごいです

★〈入賞〉〈佳作〉に加え、ベターホーム 60 周年記念企画として、60 名の方に「60 周年特別賞」を進呈しました

【第 16 回「ああ、もったいない！捨てないで！食べものを大切にしよう川柳」概要】

- ・テーマ：もったいないと感じていることや、食べものを無駄にしているなげきや怒りなどを、「食べものを大切にしよう」とユーモアたっぷりに表現した川柳を募集。
- ・応募方法：インターネット（パソコン・スマートフォン）
- ・応募期間：2023 年 7 月 4 日～8 月 15 日
- ・応募総数：1,626 句
- ・選考：ベターホーム協会
- ・賞品：入賞 5 点：フライパン・シリコンスプーンセット
佳作 10 点：ベターホームの料理本『和食をつなぐ 和食の文化を知り、家で味わうレシピ』
60 周年記念賞 60 点：ベターホームオリジナル保冷バッグ

【「食べもの大切運動」とは】

ベターホーム協会では「食べもの大切運動」として、料理教室や出版などを通して、食材を使い切る方法、上手な保存法、余った食材の有効活用術など、食べものを大切にする心と技術を提案、普及啓発しています。

* 9 月 9 日は「食べものを大切にする日」*

「食べものを捨てない（ナイン）、残さない（ナイン）」の語呂合わせから、ベターホーム協会が制定し、2009 年に日本記念日協会より認定。9 月 9 日は重陽の節句でもあり、無病息災と長寿を祈り、収穫を祈る節句であることから、「食べものを大切にして、健康に」の願いを込めました。

「食べもの大切運動」のシンボルマーク だいこんハート▶



【一般財団法人ベターホーム協会】

1963 年創立。以来 60 年にわたり、料理教室や出版を通して食分野での消費者教育を行っています。「ベターホームのお料理教室」では、料理と栄養の知識、食材の買い方や保存のしかた、環境のことなど、食と暮らしについて総合的に教えています。

【本件に関するお問合せは】 一般財団法人ベターホーム協会 企画広報部 まで

〒150-8363 渋谷区渋谷 2-20-12 渋谷日永ビル 4F

Tel：03-3407-8712（直通） Fax：03-3407-0479

Mail：kouhou@betterhome.jp

URL：www.betterhome.jp

